



平成 24 年 6 月 7 日

各 位

会社名 株式会社進学会
代表者名 代表取締役社長 平井崇浩
(コード番号 9 7 6 0 東証第 1 部)
[問合せ先] 取締役社長室長城畑隆二
(電話 011-863-5561)

栄光ホールディングスの昨日付け「株式会社進学会との資本業務提携の解消に関するお知らせ」に対する当社見解について

平成 24 年 6 月 7 日付けで栄光ホールディングス株式会社より「株式会社進学会との資本業務提携の解消に関するお知らせ」と題するプレスリリースが開示されましたので、現時点における当社の見解を下記のとおりお知らせ致します。

記

当社は、株式会社栄光（以下「栄光」といいます。）との間で、平成 22 年 11 月 12 日付け業務提携契約及び 23 年 3 月 18 日付け資本業務提携契約（以下併せて「本件契約」といいます。）を締結し、同社ないし同社の完全親会社である栄光ホールディングス株式会社（以下「栄光 HD」といいます。）との間で、長期的なパートナーシップに基づいた協働関係を築きあげていくことを合意し、業務提携委員会の開催、人事交流など友好的な関係を深めておりました。

しかしながら、本日付け「栄光ホールディングスの昨日付け『株主提案に係る進学会からの取締役 2 名の選任議案に対する反対決議に関するお知らせ』に対する当社見解について」（以下「本件プレスリリース」といいます。）でお知らせしましたとおり、栄光ないし栄光 HD は、突如として、当社との間に「その企業理念、経営方針、上場会社としてのガバナンス体制の在り方、遵法意識等、企業経営の根幹に関わる部分において、埋めがたい相違点があることが明らかに」なったため、「信頼感に基づいた良好な関係を構築することはできない状況」となったことを理由として、当社との資本業務提携契約を解除する旨を開示するに至っております。

栄光 HD の開示した内容は、甚だ抽象的であり、客観的事実と乖離したものであると判断しております。

また、本件プレスリリースでもお知らせしたとおり、当社は、これまで栄光 HD の挙げる

「埋めがたい相違点」について、具体的な懸念を表明されたこともありませんでしたし、また、そうした内容について協議を求められたこともありませんでした。また、「埋めがたい相違点」の筆頭に挙げられている当社の著作権侵害問題については、栄光 HD が平成 24 年 5 月 15 日付け「新経営体制への移行及び取締役の異動に関するお知らせ」を開示するまでも、何らの指摘を受けたことはなく、その後も同様でした。

したがって、栄光 HD の主張するような事実はなく、同社による解除が無効であることは明らかであり、同社現経営陣が何らかの意図をもって無理なこじつけをしているのではないかと推測されます。

ちなみに、当社が栄光 HD から受領した本件契約に係る解除通知によれば、同社の解除は、自然災害あるいはそれに準じるような事由が発生した場合にのみ適用のある条項を根拠としております。

当社としましては、このような内容の開示は、当社の信用のみならず、当社がその株式を保有する栄光 HD のグループ自体の企業価値をも毀損するものと言わざるを得ませんので、栄光 HD に対して法的措置を含めて対応を検討してまいります。また、栄光 HD の開示した内容についての当社としての具体的見解につきましては、改めてお知らせする予定です。ただし、当社としましては、現在も、栄光 HD の株式を保有する株主であり、栄光 HD の企業価値の向上が、当社にとっても有益であると考えていることに変わりはありません。そのために、相互に資本業務提携関係にある、当社、増進会、栄光 HD の 3 社が協力していくことが最善の方法であるものと考えております。当社としましては、この点を勘案して、適時・適切に今後の対応を検討して参る予定です。

以 上